



たらあ

平成 27 年

2 月号

平成27年2月1日発行

No.491

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



**自覚・決意新たに！
目標を持って進め！**

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan

消防出初め式 安全・無災害を願う

去る1月6日多良間村消防団（奥原博樹団長）の出初め式が村役場前で行われた。団員（24名）は、1年間の安全と安心・無災害を願い、団長の指揮のもと本番さながらの放水訓練を実施した。式典では垣花崇さんの新入団員に辞令が交付された。

あいさつで伊良皆光夫村長は「消防団員の皆様には、地域において、住民の生命や財産を守るため、消防・防災活動にご尽力いただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

昨年は全国的に災害の多い年でありました。大雨による大洪水、度重なる大型台風襲来、地震発生、御嶽山の噴火など、このような災害は現代文明社会においても確実と言える予知はできません。

消防団員の皆様には、万が一災害が発生した場合に備え、崇高な消防精神のもと、村民の安心・安全な生活を確保するため、消防団員としての高い誇りと、その職務の重要性を深く認識し、今後とも心身の鍛練、技術の錬成に努めて頂きたい。」と激励した。



「近年の急激な社会情勢の変化の中で発生する各種の災害もますます複雑・多様化しています。当村の災害発生は、皆無に等しい状況にあります。『災害は忘れた頃にやってくる』の言葉もあるとおり、いつ起きるか予想できない災害に備えて日頃の訓練はもちろん、村民各位のご協力により無災害の多良間村づくりに鋭意努力したい」と答辞を述べた。



平成27年初セリ高値取引 子牛最高666千円



▲一番牛を村長が手綱を引き上場

去る1月20日JA多良間家畜市場で初セリ式典が開かれた。畜産農家や関係機関らが参加し、今年の高値取引を記念し初セリに臨んだ。

式典のあいさつで伊良皆光夫村長は「高値取引で喜びの年であった。遠い多良間家畜市場まで足を運んでいただいている購買者のおかげである。皆さんに感謝し引き続き今年も高値取引に期待したい」と激励した。

市場では新春のムードに包まれた中、伊良皆村長が「上場1番牛」湧川和子さん所有の「平福波号」を引き連れてセリにかけた。結果、取引価格が666千円で競り落とされ会場からは歓声が沸き起こった。この日は子牛123頭、成牛12頭が上場され、総販売額6582万円余であった。

村の発展誓う 新春の集い盛大に



▲村の発展を願いバンザイ！

去る1月6日、多良間村（伊良皆光夫村長）主催の「新春の集い」が塩川集落センターで行われ、昨年に続き村民や各界の関係者ら多数参加し新春の喜びを祝った。

あいさつで、伊良皆村長は「村制百周年の昨年は、農家のエコファーマーマーク使用認定や世界遺産への挑戦などがあった。土地改良事業や農地保全事業も順調に進められている。

本村が有する歴史や文化、自然・地理的条件などを活かした地域間交流の推進に取り組む。村政の基本・原点はそこに住む人々が地元を愛し、村民自らが村づくりに参画し、「住んでみたい」「住んでよかった」と実感できる村づくりであると考えている。村民一人ひとりが「幸せ感」を感じる魅力ある村づくりを推進していく。

また、全ての事業の着実な執行と一括交付金の有効活用により、子育て支援、過疎対策、教育、観光、人材育成、危機管理体制の充実、生活環境の整備など新しい発想を取り入れた事業展開と村づくりを進める」と述べた。

そのほか舞台では、琉舞愛好会による「かきやで風」で幕開けし、エイサー愛好会が演舞を披露するなど会場を盛り上げた。

各テーブルでは、新年の抱負を互いに語り合い相互の親睦を図るとともに、村の発展と村民の健康、活躍を祈念した。

20歳の門出を祝う



▲成人らのかぎやでいふうで幕開き

新年を迎え1月4日、多良間村（伊良皆光夫村長）の平成27年成人式が多良間小学校体育館で行われた。新たな門出を迎えた男性9人、女性6人、計15人の飛躍と活躍を祈念し祝った。

式辞で伊良皆村長は「これから皆さんは社会のなかで一人前の大人、すなわち「成人」として扱われます。これまでは「未成年」という名のいわば社会の準会員でした。これからは、権利も義務も一人前の社会の正会員です。今日を節目に成人として生きて行く、何十年という歳月に思いを馳せて下さい。「自分はこれからどう生きるのか」を問いかけ、「今



▲成人代表挨拶・垣花実樹さん

日の若き日の思い」や決意をしっかりと胸に刻んで下さい。
10年後の30年後の自分はどんなになりたいのか、それまでどんなことをしたいのか、具体的な夢や志を胸に目標に向かって進んで下さい。皆さんには「無限



の可能性」があります。限らない可能性を信じて、いろいろな事に挑戦し、勇気を持って積極的に自分の人生を切り拓いていてほしいと思います。

一旦ふるさとを離れておられる皆さんには、可能であるならば是非、将来再びふるさとで、希望や夢に向かって挑戦し、活気を育んでいただきたいと願っております」と述べた。

新成人を代表して垣花実樹さんは「今日から社会人の一員となります。皆様から頂きました教訓を胸に刻み、社会に出ていくと思います。この日が来るのを心待ちにしておりました。本日の思いを胸に、新成人として自覚と決意を新たにし、社会の一員として自らの意思で生きていきます」とあいさつした。



宮古市から訪問団 宮古市・多良間村児童生徒交流



▲寒い中シュノーケリング体験

多良間村との姉妹市である岩手県宮古市から、去る1月7日に10人の訪問団が入村した。多良間空港では受け入れ家族や関係者らが出迎え対面をした。

伊良皆光夫村長は「3000kmという長旅ほんとお疲れ様、雪の降っている宮古市とは違い暖かい多良間島です。多良間でしか体験できない事に挑戦したり、多良間の文化をたくさん学んで友達をいっぱいつくってほしい」と歓迎した。

訪問団は島のさとうきび刈りやシュノーケリングなどの体験をしたり製糖工場の見学などで島を満喫した。

この交流学習は昭和61年から始まり、児童生徒の代表が、多良間村と宮古市を相互に訪問し、地域の自然や文化を学習するとともに、地域の方たちとの交流を深め健全育成に資することを目的に毎年実施されている。

姉妹市村となったのは1859年に江戸から岩手県宮古へ出航した「善宝丸」が嵐に遭い、76日間漂流した末、多良間村の高穴海岸へ漂着した。乗組員7人は約2カ月間にわたり島の人たちから手厚い看護を受け、宮古市へ無事に帰ったという史実から交流が始まった。

「石垣・多良間空港路線利用促進協議会」発足する

多良間・石垣間は、平成13年度まではDHC（19席）、平成14年度からはBM（9席）が就航していましたが、平成18年3月31日に路線廃止となっています。

平成27年10月から路線再開に向け沖縄県と関係機関で取り組んでおります。地元での取組として、平成26年12月2日に協議会を発足しました。今後、搭乗率50%確保に向け、需要喚起策等について協議が行われる予定です。会長には、多良間村観光協会会長「富盛玄三」氏が就任しました。事務局は観光振興課です。（☎0980-79-2260）

購買者誘致活動(宮古・多良間牛PRで)

新年明けて1月7日から、JAおきなわ宮古地区本部や県、宮古島市、多良間村で構成する、購買者誘致を目指す行動で東北班と九州班に分かれ関係者9人が宮古・多良間牛のPR誘致活動を行った。伊良皆光夫村長ら東北班は山形県で昨年の宮古全体32億円突破、多良間家畜市場6億4千万円販売高へのお礼と購買者の誘致活動・要望などに努めた。

伊良皆光夫村長は、和牛改良組合多良間支部役員・事務局の皆さんへの購買者誘致報告で次のように述べ激励を行った。「各購買者から意見を聞くことができました。どの購買者からも多良間の牛の飼育について、良い環境にあり子牛生産に適している。つなぎ飼いなどのような他地区の牛飼いの仕方を真似しないでほしい。良い環境で育てられた子牛は、健康で足腰が強く肥育環境にも順応しやすい。そのため、購買時点で小柄な牛も食いつきがいため、肥育がしやすく太り具合が良い。また、以前に比べて改良も進んでおり、申し分ない。自信をもって多良間の牛飼いを進めてほしい。全国的な素牛不足と牛肉の消費の伸びから、今後とも子牛の高値傾向は続くものと予想される。高値販売に乗じて系統の良い雌子牛まで販売されることが懸念されており、良い系統の雌子牛は保留することを含言葉としてほしい。村としても雌子牛保留奨励金等で助成している。このことは増頭にも繋がり、将来の畜産経営に確実にプラスになるものと確信する。」2014年多良間村の年間セリ市販売高は、成立頭数1453頭で6億4千万円余の史上最高額を記録した。

たらま花の 苗配布

昨年12月たらま花(紅花)保存会(佐久本洋子代表)では、村全家庭へ約1,000本のたらま花の苗を配布した。たらま花は「村花」としてのシンボルでもある、紅の染料として古代から使用され、また薬草としても暮らしの中で使われてきた貴重な花。沖縄ではタラマバナと呼ばれ伝えられている。

この花は地中海沿岸地方から西アジアが原産と言われる1〜2年生草木。50〜100cmに成長し、アザミに似た花を咲かせる。

佐久本代表は路地やプランターなどで育て、毎年、種を保存し花を咲かせて!と話した。



伊良皆光夫村長が 翁長雄志知事を訪れる

去る1月23日、伊良皆光夫村長は新年の挨拶で、沖縄県翁長雄志知事を訪れた。翁長知事は面談のなかで「県内の各離島の船の運賃や宿泊代を助成する制度の仕組みづくりを進めている。これまで那覇市長時代に「島たび助成」として施策を展開した経緯がある。今後、県内各離島の良さを引き出し、20年後、あるいは30年後の沖縄全体の観光を底上げする方向で取組みたい」と考えを示した。

その後、伊良皆村長は各関係機関課をあいさつ回りで訪れた。

保健師からのお知らせ

血圧計設置場所

郵便局
JA多良間支店(2階)
中央スーパー
池城商店
ゆがぶう商店

平成27年1月27日
末永 明彦

新年を迎え農家の皆様におかれましては、サトウキビの収穫等忙しくなっているとと思います。

現在は一段落しています。が、年末年始にかけて村内ではインフルエンザが流行しました。日頃から手洗い、うがいをして予防に心がけておられると思いますが、冬場の乾燥した気候はしばらく続きますので、引き続き体調管理には気をつけていきましょう。また、体調が十分でないときには、人の多く集まる場所には行かないということも大切です。村民の皆様が互いに感染症予防を心がけて頂くことが重要となりますので、よろしく願います。

話題は変わりますが、村内の数カ所にどなたでも測定できる血圧計が設置されていることをご存じですか。この血圧計は、以前多良間診療所に勤務なさっていた安谷屋医師が寄贈されたものです。設置場所は表の通りとなっています。商店等に立ち寄った際には積極的に利用して頂き、健康管理にお役立て下さい。

★★★宮古島税務署からのお知らせ★★★

◎平成26年分確定申告書等の提出・納期限についてお知らせします。

- ・所得税及び復興特別所得税・贈与税は3月16日(月)まで
- ・個人事業者の消費税及び地方消費税は3月31日(火)までとなっております。

*申告書等の提出・納付はお早めをお願いします。

ケーブルテレビの「デジアナ変換サービス」は3月30日に終了します

暫定的にアナログテレビでもケーブルテレビ経由で地上波デジタル放送を視聴できる「デジアナ変換サービス」は27年3月30日に終了します。引き続き、デジタル放送を見るには次の3つの受信方法があります。

- ・ ケーブルテレビと契約し、デジタルSTB(セットトップボックス)を設置する
- ・ デジタルテレビに買い替える
- ・ 地デジチューナーを購入し、アナログテレビに接続する

また、NHK放送受信料全額免除世帯については、地デジチューナーの無償給付を受けられる場合があります。

問合先 総務省地デジコールセンター ☎0570(07)0101へ。HP [総務省 デジアナ](#) で [検索](#)

島が誇る 黒糖工場操業開始 黒糖の香り 島中に



▲操業開始で原料を投入する

伊良皆光夫村長は「これより95日間の長い操業が始まる。期間中良い天気恵まれることを期待する。また高品質取引を期待し、安全第一に頑張つてほしい」と激励した。

安村勇社長は「今年からエコファーマーマークを使用する。認定に恥じない黒糖作りを行う」とあいさつ。

良間工場（来間春誠工場長）ではH26/27年期のサトウキビ製糖操業を開始した。初日に搬入された原料は239ト、平均糖度は14.5度で基準糖度を上回る高品質であった。



▲安全輸送を願い出荷式



▲来間工場長が村長へ新黒糖を贈呈

今期製糖は4月9日を終了予定、工場は2交代制で24時間フル稼働している。95日間で生産予想を21,000トとした。操業開始から5日目まで黒糖500ケース15トを初出荷。出荷式では製品の安全輸送を祈願し、来間工場長は「操業開始から5日目で初出荷ができた。今期の出荷目標は3000トで糖度を15度と見込んでいる。良い品質のエコ黒糖を作り消費者に喜んでもらいたい」とあいさつした。

ふるさと納税 寄付のお礼

多良間村の村長お任せコース希望で、20万円のご寄付がありました。ありがとうございました。

◎下地 貴将 様 （さいたま市桜区在住）

この「ふるさと納税寄付金」制度が導入されたのは2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思っただけの方々に「ふるさと納税寄付金」を通じて多良間村を応援していただくものです。

寄付金の事業区分は次の通り。

①教育関係コース ②産業振興関係コース ③自然環境関係コース ④村長にお任せコースがあり、複数選択可能！

※「ふるさと納税寄付金」についての詳細は、多良間村のホームページ「ふるさと応援寄付金」欄からクリックして下さい。

◆◆◆多良間島エコファーマー講演会◆◆◆

昨年12月に嘉田良平名誉教授(農政学・環境経済学)が塩川集落センターにおいて、多良間島のエコファーマーに関する講演を開いた。「多良間の環境保全型農業に期待する」～6次産業化と島おこしにどうつながるか～の演題で講演され、会場には多くの住民が参加し嘉田氏の話に聞き入っていた。

・過疎化・高齢化の中山間地域はどうなるのか？(昔)地域の人々による出役、結い、集落共同作業、60年代から過疎化・高齢化が進み今や限界に近い。新たな担い手を育てないといけないと言う。

・全島エコファーマーの価値をどう生かすか？環境保全型農法の導入という試みを、具体的にどのように活用し、経済的な成果に繋げるのか。また農業生産者、役場農業関係機関、地域住民など多くの地域ぐるみのステークホルダー(消費者、従業員、仕入先、得意先、行政機関など⇒利害関係)の参加によって、環境保全、生態系回復、安全・安心の仕組みづくりをどう生かすか。

・6次産業化による島おこし戦略について、新規就農者・後継者への農業支援、赤土流出による珊瑚礁の破壊、生態系サービスの劣化を食い止め、環境保全機能を回復。「エコ黒糖」「国産天然ノニジュース」などの差別化商品の開発及び販売面の工夫。エコの島・多良間の定着、エコツーリズムの推進などによる多良間独自の観光振興。⇒「食」と「農」と「環境」をどうつなぐのか、また地産地消・直売場、大都市への産直戦略等について講演された。



キビ刈り体験学習 第一次産業を学ぶ

多良間中

去る1月8日、多良間中学校(池田満校長)では、さとうきび刈り体験を実施。多良間島の第一次産業の大切さを実感し、1年・3年生57人全員が参加し汗を流した。

課外授業の一環として、本村の基幹産業であるさとうきびの収穫体験を通して、島の特産物である多良間産黒糖への理解を深めるとともに、勤労生産の尊さについて考える機会とし、また、地域のお年寄りのキビ刈り作業を手伝うことで、ボランティア精神を培うとともに、地域貢献への意識付けを行うことをねらいとし、体験学習を実施。

多良間製糖工場の協力で実施し、来間春誠工場長は「お年寄りのキビ刈り作業に協力しありがたい。多良間村は島ごとエコファーマーに認定された、このことも理解し頑張ってください」と激励した。

生徒たちは男子が斧でキビの根元を刈り取り、女子は枯れ葉をカマでそぎ落としトラックに積めるように山積みした。この日3時間で6トン。

池田校長は次年度より農場を確保し、キビ植え付けから管理作業及び収穫までを一環して取り組めないか模索している。



クリスマスおゆうぎ会



村立多良間保育所(本村芳子所長・園児38名)では、「保育所つ子 夢の世界へ」をテーマに、去る12月19日にクリスマスおゆうぎ会を開催した。

園児たちのあいさつで舞台は幕開けし「おとうさん、おかあさん、おじい、おばー」一生懸命がんばります。」と元気な声であいさつした。園児たちは一人ひとりの個性を活かし多くのプログラムを繰り広げ、父母や地域の方たちに披露した。



12
月

世帯数と人口 (平成26年12月末現在)			
総世帯数 521 (1)			
総人口 1,231 (1)			
男 660 女 571			
区 別	人 口	世帯数	
土 原	69 (- 1)	31 (- 1)	
天 川	100 (0)	42 (0)	
津 川	112 (0)	53 (1)	
宮 良	74 (- 3)	30 (- 1)	
嶺 間	152 (0)	66 (0)	
大 道	197 (- 1)	92 (0)	
大 木	307 (6)	118 (2)	
吉 川	215 (0)	85 (0)	
水 納	5 (0)	4 (0)	
出 生	0	死 亡	1
転 入	4	転 出	2

() 内は前月比

おくやみ 字仲筋 森山 ツル 平成26年12月1日 (97歳)

緊急ダイヤル

火 災 村 消 防 (79-2619) 119番
警 察 官 派 出 所 (79-2010) 110番
急病人 (1) 多良間診療所 79-2101
(2) 時間外 090-6862-6490
(3) 役場住民福祉課 79-2623
救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619
歯科診療所医師 79-2162
停 電 沖縄電力多良間営業所 79-2147
断 水 役場住民福祉課 79-2623
家畜疾病 役場産業経済課 79-2503
ガス専用JA多良間 090-6859-2355

救急に関すること
(1月)

◆時間外救急受付 20件

◆救急車出動 5件

◆ヘリ搬送 2件

救急車要請：
79-2619

急病人時間外：
090-6862-6490

広報たらま
寄付金のお礼

豊里 勝一様 (沖縄県浦添市在)

ありがとうございました。

「村長杯ゲートボール大会」ご寄付のお礼

- ・(資)下地土建
 - ・(株)塊 心
 - ・(有)丸真産業
 - ・知念土木
 - ・(株)系数興業
 - ・(有)丸玄建設
 - ・(資)宗建設
 - ・富原建設
 - ・叶 建設
 - ・西筋産業
 - ・(有)知念重機産業
 - ・(有)郷土開発
 - ・NAHA興産
 - ・嘉手苅 光徳
- 有難うございました。

多良間駐在所より～免許更新について～

多良間村内でも運転免許証の更新手続きはできます。

『免許更新の方法は以下の3通りになります』

- ① 免許証の更新時に多良間駐在所において更新手続きを行い更新期限を先延ばしにする。
② その後に年に2回(高齢者講習にあっては年1回・70歳以上)の講習を受ける
③ 講習修了書と新しい免許証とを交換する
- ① 更新時に「宮古島の安全運転学校宮古分校」へ行き、更新手続き及び講習を受ける
② その日で新しい免許証を受け取る
- ① 多良間駐在所で免許証の更新手続きを行う(有効期限を先延ばしにする)
② 先延ばしになった有効期限以内に宮古島で講習を受ける
③ 「講習済み」の押印を免許証裏にもらい、多良間駐在所で新しい免許証を受け取る

尚、多良間島での講習は「高齢者講習3時間」その他の人は「特定任意講習2時間」程になっております。

*講習期日は未定なので、郵送にてお知らせします。

1月牛セリ結果 (27年1月19日実施)

◇全体

区 分	去 勢	牝	合 計
上場頭数	85	38	123
成立頭数	85	38	123
成立(%)	100	100	100
販売価格(円)	46,029,600	17,604,000	83,633,600

◇12ヶ月以内

区 分	去 勢	牝
あー たり頭	最高	719,280円
	最低	401,760円
平均体重	232kg	217kg
平均価格	541,525円	463,283円

村長のたうけーむぬゆむ(ひとりごと)

今年の大河ドラマ「花燃ゆ」が放映されている。幕末の志士たちから「師」と仰がれた吉田松陰の妹「文(ふみ)」が主人公として描かれる。

幕末から明治維新にかけて活躍した、高杉晋作、久坂玄瑞、入江九一(いりえくいち)、吉田稔麿(としまろ)の「松下村塾(しょうかそんじゅく)四天王」をはじめ、西郷隆盛や木戸孝允(きどたかよし)らも登場するという。この大河ドラマ「花燃ゆ」の大きなねらいは、「明治維新はこの家族から始まった」ということらしい。

松下村塾の主宰者として、四天王のみならず、伊藤博文、山縣有朋、山田顕義らも育てた功績は現代でも高く評価されている。松下村塾では、単に文学や机上の学問をするだけでなく、登山や水泳も取り入れた「生きた学問」だったといわれる。実際に東北から九州まで足を延ばし、現場を己の眼で見つめ続けた松陰は「飛耳長目」(ひちちようもく)の大切さを唱えた。飛耳長目とは、いかなる時も情報を収集し、しかるべき未来の判断材料として役立よ、という意味だ。「志を立て、それをもって万事の源と為せ」「百年のときは一瞬に過ぎない」「志を實踐していくためには人と異なることを恐れるな」など、松陰の残した言葉は今も古び

ることがない。

「至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり」誠を尽くしてそれに感じない者はいない。「至誠」とは松陰が生涯貫いた態度だった。多良間中学校の校訓としても受け継がれている。そんな松陰が己の信念を貫き、安政の大獄によって、斬刑に処せられたのが1859年(安政6年)の10月である。岩手県宮古市と交流のきっかけをつくった、南部藩善宝丸が多良間に漂着した年である。死を覚悟した松陰は、まず家族あてに「氷訣書」(ひようけつしょ)を記した。氷訣とは永遠に別れる意であり、このなかで、「親思う心にまさる親心けふのおとずれ何とときくらん」。じぶんは両親のことを思い心配しているが、その自分が親を思う心よりも、親ははるかに自分のことを思い気にかけているだろう。その親は、今日私が処刑されたという知らせをどんな思いで聞くのだろうか。と詠んでいる。処刑の前日には、友人や弟子たちに向けて牢屋敷のなかで遺書「留魂録」(りゅうこんろく)を書いた。今日、私が死を目前にして、平穏な心境であるのは、春夏秋冬の四季の循環とすることを考えたからである。私は三十歳、四季はすでに備わっており、花を咲かせた、

実をつけているはずである。それが単なるもみ殻なのか、成熟した粟の実なのかは私の知るところではない。もし、同士諸君の中に、私のささやかな真心を憐れみ、それを受け継いでやろうという人がいるなら、それはまかれた種子が絶えずに、穀物が年々実っていくのと同じで、収穫のあった年に恥じないことになるであろう。同士諸君よ、このことをよく考えて欲しい。と訴えて三十歳の生涯を終えた。

あの時代、二十代・三十代の青年たちが国を思い、世の中を思いながら、命懸けで歩んでいたのだ。今年はこうした幕末の志士たちの「志」に思いを馳せる年にしたい。授かった生命を燃やし尽くし、己の人生を社会に捧げた男たちの真心の物語。松陰をはじめ、幕末に生きた人々から真摯な情熱を学びたいと思っている。



編集後記

☆平成27年の新成人15名の新たな門出を祝った。社会人の一員となり、自覚と決意を新たに自らの意思で生きていくと語っていた。社会の波を乗り越え、将来は多良間に戻ってほしい。

☆今年の冬は寒さを感じる。そんな中キビ刈り作業も順調で糖度も14〜15度と高品質である。島が誇る黒糖もエコマークを入れ消費者には人気だ。

☆多良間中学校全生徒がキビ刈り体験をおこなった。近年、機械化で子どもたちが手伝う機会が少なくなってきた。ぜひ、ほ場を確保し植付から肥培管理、収穫と総合的な体験を毎年やってほしい。

☆多良間小学校3年生にスーパードライ女子がいた。下校中に道路脇で横たわり、体調不良のお年寄りを見つけ、近くにいた大人に助けを求める子、自分の衣服でかけを作る子、風をおくる子、懸命な救助活動をしたと学校から善行表彰された。

「亀山琉華」さん「久志舞香」さん「新里 鈴」さん「浜川藍香」さんー偉い！

てるけん

みなさん、**沖縄県離島住民割引運賃カード**はお持ちですか？？

お持ちでない方は割引を受けられません！！



沖縄県離島住民割引運賃カードは、沖縄県が実施する離島住民の交通コスト負担軽減事業における離島住民のために新設された運賃を購入する資格を有する対象者であること等を証明するために発行するカードです。**チケットの購入、飛行機及びフェリーへの搭乗手続きの際、カードの確認が必要となります**のでご用意ください。

航空運賃(多良間発着)について

	往復	特別往復割引 (離島割引)	差 額
大人	11,200円	7,000円	4,200円
小児	6,200円	3,600円	2,600円

フェリーたらまゆう(多良間発着)運賃について

	往復	特別往復割引 (離島割引)	差 額
大人	4,690円	2,270円	2,420円
小児	2,360円	1,140円	1,220円

※特別往復割引は、飛行機、船ともに多良間出発の場合に限られます。

ただし、離島高校生等の方は宮古発着も適用されます。

上記の料金は平成27年3月31日搭乗分までの料金です。

平成27年4月1日搭乗分からは変動がありますので購入前に確認してください。

※往復割引で購入のチケットの使用期限につきましては、各事業所へお問い合わせください。



離島住民割引カードの交付について

対象

①多良間村に住所のある方。

②離島出身の学生。(父母のどちらかが多良間村の住民である必要があります。)

※学生とは、学校教育法で定められた「学校」に通う学生(高校生、大学生、専門学校生等)です。

申請に必要な物

① 3ヶ月以内に撮影された顔写真(縦3cm、横2.5cm)

② 本人確認書類(運転免許証、保険証など) ※離島出身学生等の方は在学証明書

③ 印鑑(認印可)

※手数料はかかりません。

離島出身高校生、お体の不自由な方はお安くなります！！

・離島出身高校生、お体の不自由な方が、**還付手続きを役場で行うと**

これまでの離島割引からさらにお安くなります。これまで利用して

いる離島割引で乗った飛行機の半券を還付請求に添付して手続きをすると支払った料金の一部が還付されます。

高校生 一片道600円

お体の不自由な方 一片道150円 の還付があります。

申請に必要な物

① 搭乗半券もしくは搭乗証明書

② 振込口座番号

③ 印鑑

※請求できる期間は、利用した年度の翌年度4月6日までです。ご注意ください。

例:平成26年4月～平成27年3月利用分⇒平成27年4月6日

お問い合わせ: 多良間村役場 総務財政課 TEL0980-79-2011